



## どうして農業を始めるの？

### 施設園芸栽培調査研究事業って？

以前から村では移住施策に取り組んでいました。ただ、移住を検討する際には、仕事と住む場所が必要であり、そこが課題でもありました。とはいえ、猿払村には、漁業と酪農業という2本の太い柱があります。そこで、その分野と連携がとれ、今まで村にはなかった産業の立上げを目指すこととし、農業に取り組むことにしました。

そのため、どのような条件で、どのように栽培すれば、どれくらい作物ができるのかといった具体的なデータを示すために、実際に自分たちで農業を行い、これらのデータをとることになりました。

指導していただくなど、多くの方たちの協力により成り立っている事業となります。

まったくの手探り状態からのスタートであったため、目まぐるしく変わる状況にあたふたしながら作業を進めてきました。11月下旬頃には収穫の目途が立ち始め、本格的に活用方法を検討できるまでになりました。

猿払を含む宗谷地方は、作物栽培が盛んな地域ではありません。そのような地域で、単に新たに作物栽培を行いませんかと

言っても手を挙げてくれる人は少ないでしょう。

ハウスは、令和2年10月から供用を開始し、地域おこし協力隊を中心に、現地での野菜栽培

を行っているほか、北海道立総合研究機構の上川農業試験場などの皆様に、野菜栽培について

は、「色々な問題が発生しながらも、しっかり育てられたことはよかったです。来年は、今年の反省を踏まえ、より良いものを育てたい」と意気込みを語ってくれました。

地域おこし協力隊の塚田隊員



## 特集 新たな農業に挑戦

## 旧芦野小学校 グラウンド跡地に ビニールハウス!?

皆さんすでにご存知かもしれませんが、旧芦野小学校グラウンド跡地にビニールハウスが2棟たっています。

「あのハウスは何？」  
「何のために建てたの？」  
「何を育てるの？」など  
様々な疑問・質問があると思います。

そこで、今月号から、このビニールハウスを活用して行う施設園芸栽培調査研究事業について紹介していきます。

地域おこし協力隊の塚田隊員



葉物野菜

- ・リーフレタス2品種
- ・ミニ白菜
- ・チンゲン菜
- ・小松菜
- ・ほうれん草

10月から栽培しており、出荷可能な状態まで育っています。

12月18日には、浜鬼志別保育所の子どもたちの収穫体験を行いました。元々、来年以降、子どもたちの食育等に活用できないかと検討していたところ、地域おこし協力隊から収穫体験について相談され、人数等を考慮し、まずは浜鬼志別保育所を対象に試験的に実施してみることにしました。



2月～9月

イチゴ

4品種の栽培を予定しています。北海道で広く栽培されているもの、春から夏にかけて栽培できるもので甘くなるもの、珍しい香りや色をしているものという観点からそれぞれ選定しました。2月から準備を始める初回の栽培では、とにかくおいしいイチゴをしっかりとつくることを目的とし、専門家の指導を受けながら事業を進めていきます。

栽培は、葉物野菜とイチゴの栽培を1回ずつで1サイクルとし、合計3サイクル実施する予定です。最終的には、そこで得られたデータをもとに、村に最適な栽培マニュアルを作成していきます。



ハウスを見学したい方は、下記担当までご連絡ください。

■企画政策課企画係  
☎ 01635-2-3132

10月～1月

11月28日(土)

笑顔あふれる最後の発表会



令和3年度から鬼志別保育所と統合され、閉所となる浜鬼志別保育所の「最後の」発表会が開催され、13人の子どもたちが練習の成果を披露しました。

**遊戯「やんちゃかいじゅうどっかーん」**

2・3歳児の男の子たちが恐竜になりきって元気いっぱい踊りました。

**劇「6ひきのこぶた」**

3ひきのこぶたを6ひきのこぶたで演じるオリジナルストーリーに4・5歳児が挑戦。劇の最後には手遊び歌も披露しました。

**遊戯「ソーランかもめ」**

浜鬼志別保育所の伝統遊戯を全員で踊りました。はっぴ姿で大きな掛け声を出しながら元気に踊り切りました。

**リトミック**

**「みんなでバイバイ」**  
今年度から始めたリトミック。そこで歌っている曲を全員で披露しました。ノリノリで踊る子どもたちの姿に大人も自然と笑顔に。

※リトミックとは…音楽と触れ合いながら、子どもたちの身体的・感覚的・知的発達を促す教育



1\_「はじめのことば」 2・3\_遊戯「やんちゃかいじゅうどっかーん」 4・5\_遊戯「ソーランかもめ」 6・7\_劇「6ひきのこぶた」家の絵は子どもたちが描きました 8・9\_リトミック「みんなでバイバイ」